

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調査

基準年月日 令和3年8月1日

Table with columns: 調査番号 (06-09), 所管部 (農政部), 作成責任者 (農政部農村振興局農地整備課長 磯嶋 光世), 担当係 (畑地整備係(内) 27-572)

I 基本事項(基準日時点)

Table with columns: 事業種別 (道営土地改良事業費(水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備型))), 地区名 (びんたかぐらほらに美登高第2), 市町村名 (音更町), 事業費 (5,655百万円), 負担割合 (国 52.0%, 道 28.0%, 市町村 11.7%, その他 8.3%), 国 (2,941百万円), 道 (1,583百万円), 市町村 (662百万円), その他 (469百万円)

Table with columns: 事業概要 (畑作物の生産振興及び畑作経営の改善などを図る。地域農業をささえる担い手農家の経営体質を改善し、安定した農業経営の確立を目指す。担い手への農地集積を図る。事業実施により、安全・安心な食の生産をささえる。), 事業目的・目標 (アウトカム: 事業実施前(H29年(2017年))の担い手農地利用集積率(受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合)は92.3%だが、本事業を実施することにより事業完了翌年には95.3%への向上が見込まれる。), 工事費内訳 (受益面積 A=1,152ha→A=1,048ha, 受益戸数 82戸→65戸, 畑地かんがい A=253ha→A=281ha, 排水路 L=6,179m→L=1,557m, 区画整理 A=718ha→A=714ha, 暗渠排水 A=80ha→A=70ha, 除曝 A=28ha→A=16ha, 営農用水施設 1式, 施設 N=3か所, 管路 L=31km→L=33km, 測量設計費 調査・設計 682, 800, 用地買収補償費 用地買収・物件補償 47, 62, 計 4,512, 5,655)

Table with columns: 総合計画での位置付け (総合計画:中項目 農林水産業の持続的な成長, 総合計画:小項目 潜在力の発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり, 施策目標 地域の個性や創造力を活かした農業・農村の持続的発展に向けて「いのちの源「食」の生産をささえる」「多様な担い手と地域をささえる」「豊かな農村環境をささえる」の3つを整備の基本方針とし、地域の実情に即した生産基盤等の計画的な整備を進める。), 関連する指標 (食料自給率(カロリーベース) 令和7年度(2025年度) 目標値:258%)

II 公共事業評価経過

Table with columns: 事業経緯 (事前評価/当初 H30(2018), 前回評価 H30(2018), 今回評価 H30(2018)), 事業費 (総事業費(a) 4,512, 道負担額 1,263, 当該年度事業費 493, 累計事業費(b) 1,394, 進捗率(b)/(a) 25%), 変更理由・内容 ((1)畑地かんがいについて、整備要望取り込みによる事業量、事業費の増。(2)排水路について、整備路線の見直しによる事業量、事業費の減。(3)区画整理について、整備内容の見直しによる事業費の増。(4)区画整理、暗渠排水、除曝について、整備要望取り下げによる事業量、事業費の減。(5)営農用水施設管路について、整備路線の見直しによる事業量、事業費の増。(6)自然増及び消費税率の改正による事業費の増。(7)積算基準の改正による事業費の増。)

III 事業採択前の状況

Table with columns: 1. 事業採択に至る経過と背景 (本地区は、排水不良土壌による湿害、石礫による営農障害があり、作物生産活動への影響や、断面不足により降雨時の越水被害が発生している。また、本区域内の営農用水施設は老朽化などにより必要水量を確保できていない状況にあることから、併せて営農用水整備を実施し、農業経営及び生活に必要な用水の安定的確保を図るために、音更町から事業採択に向けた要望が出されている。), 2. 事業検討の経緯(住民ニーズの把握等) (H26年(2014年)7月 音更町から十勝総合振興局に調査計画を要望, H29年(2017年)4月 十勝総合振興局で地域の整備要望を踏まえ調査開始, H29年(2017年)11月 農林水産省へ事業申請, H30年(2018年)4月 事業採択), 3. 事業効果を及ぼす地域・対象 (音更町 受益面積 1,152ha, 受益戸数 82戸)

Table with columns: 4. 関連する事業 (事業名 国営かん排事業十勝川左岸地区, 事業主体 国, 事業期間 S59(1984年)~H7(1995年), 事業費(百万円) 18,133, 事業内容 畑地かんがい6,280ha)

IV 事業の実施状況

Table with columns: (1) 事業実績及び今後の計画 (施工(工種)区分, 工事内容, H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8, 進捗状況, 事業費(百万円)), (2) 進捗状況 (排水路、区画整理、暗渠排水、除曝、営農用水施設は予定どおり進捗しており、畑地かんがいについて、これまで測量等の調査を進めており、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。), a (a:概ね予定どおり実施している。 b:事業計画・期間等を変更し実施する。 c:問題が生じ、実施に支障をきたしている。)

Table with columns: 2. 事業効果 (経済効果の内訳(百万円), 費用の内訳(百万円), B/C, 備考), 前回算定年度:平成28年度(2016年度)【事前評価】, 前回算定時B/C:1.40, 変更理由:事業費の増額に伴う費用の増加, 算定年度変更による諸係数・単価の入れ替えに伴う精査, 営農経費削減効果の人員費・機械経費に係る単価の入れ替えに伴う便益の増, 排水路4条→2条への減に伴う関連施設費用の減

Table with columns: 3. コスト縮減などの取組 (取組の項目, 取組内容, 縮減額(百万円) 102)

V 評価							
1. 必要性	<p>●排水路の断面不足による越水や、排水不良ほ場での湿害、高温少雨被害等により農作物の安定生産に支障が生じている。また、飼養頭数増による水量不足や管路の老朽化による漏水が発生しており、営農用水施設の早期修繕が必要となっている。このため、区画整理、暗渠排水、除礫、農業用排水、営農用水の整備を一体的に行い、農作物の生産性の向上、農業経営の安定化を目指す。</p> <p>●事業の必要性に変化は無く、着実に事業の推進を図る必要がある。</p>						
	a	a：事業の必要性に変化は無く予定どおり事業を推進する。		b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。		c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。	
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題						
	<p>●周辺環境に配慮し、機械施工の際は騒音・振動の発生を極力抑える。 ※直近の評価以降の状況変化はない。</p>						
	(2) 事業推進に対する住民の動向						
3. 事業達成の見込み	<p>●+勝圏活性化推進期成会から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。</p>						
	(3) その他の課題						
	●特になし						
4. 対処方針	事業実施に当たり事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。						
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。					
4. 対処方針	農地・農業施設の整備水準の向上に大きく寄与し、地域農業の維持に大きく貢献するとともに国民への食料の安定供給に資することから事業を継続する。						
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止					
	事業期間変更の有無	無	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 有
VI 備考							
1. 評価履歴	事前評価：平成28年度（2016年度）評価 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C：1.40 再評価：該当なし						
2. その他の取組事項							

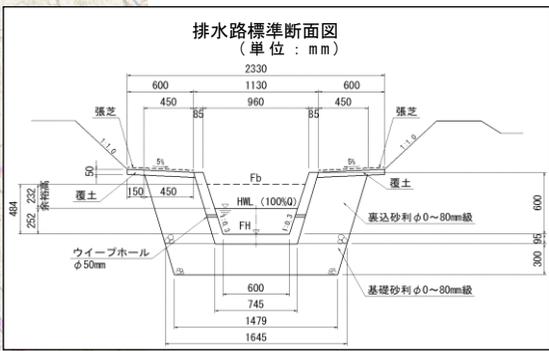
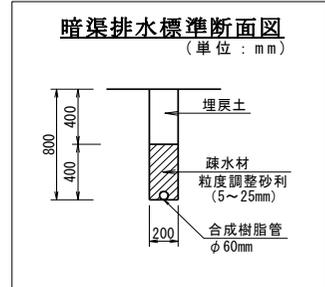
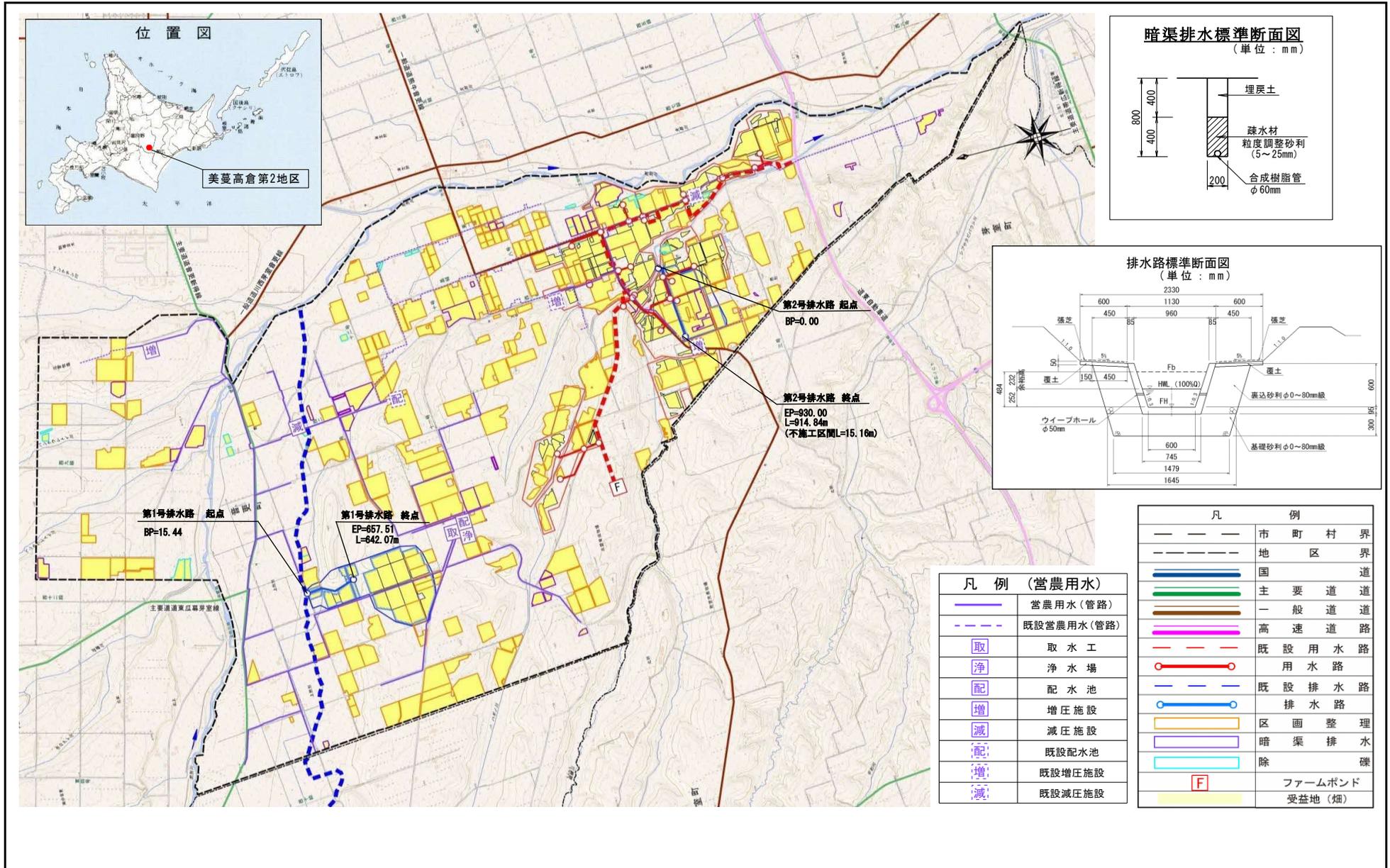
補足資料

VII 事業計画変更											
事業経過	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初		H30(2018)	H30(2018)		H38(2026)		4,512	1,263			
変更①		H30(2018)	H30(2018)	H30(2018)	H38(2026)		4,950	1,386			
変更② 1回目				R3(2021)	R8(2026)		5,655	1,583	493	1,394	25%
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩						3					
変更理由・内容		<p>変更①（採択時）：事業量及び事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑地かんがいについて、整備要望取り込みによる事業量、事業費の増。 ・排水路について、整備路線の見直しによる事業量、事業費の減。 ・区画整理について、整備内容の見直しによる事業費の増。 ・区画整理、暗渠排水、除礫について、整備要望取り下げによる事業量、事業費の減。 ・営農用水施設管路について、整備路線の見直しによる事業量、事業費の増。 <p>変更②（R3.1時点）：事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然増及び消費税率（8%→10%）の改正による事業費の増 ・区画整理及び除礫について、積算基準の改正による事業費の増 									

事業概要図

事業名	水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備型）	地区名	美蔓高倉第2地区
-----	------------------------	-----	----------

事業地区位置図



凡例 (営農用水)

	営農用水 (管路)
	既設営農用水 (管路)
	取水工
	浄水場
	配水池
	増圧施設
	減圧施設
	既設配水池
	既設増圧施設
	既設減圧施設

凡	例
	市 町 村 界
	地 区 界
	国 道
	主 要 道 道
	一 般 道 道
	高 速 道 路
	既 設 用 水 路
	用 水 路
	既 設 排 水 路
	排 水 路
	区 画 整 理
	暗 渠 排 水
	除 礫
	ファームボンド
	受益地 (畑)